

# 今後の主な講習会日程(平成21年度分)

発行日 平成21年8月7日

## ・ 安全教育講習 (1)ガス溶接技能講習

平成21年 8/3日(月)4日(火), 8/18日(火)19日(水), 9/1日(火)2日(水),  11/10日(火)11日(水), 11/24日(火)25日(水), 12/8日(火)9日(水), 12/21日(月)22日(火), 平成22年 1/13日(水)14日(木), 1/27日(水)28日(木), 2/9日(火)10日(水), 2/22日(月)23日(火), 3/9日(火)10日(水), 3/24日(水)25日(木)
---

## (2) アーク溶接特別教育講習

平成21年 8/26日(水)27日(木)28日(金), 9/28日(月)29日(火)30日(水), 10/21日(水)22日(木)23日(金), 11/25日(水)26日(木)27日(金), 12/16日(水)17日(木)18日(金) 平成22年 1/21日(木)22日(金), 2/24日(水)25日(木)26日(金), 3/17日(水)18日(木)19日(金)
--

## ・ 各種技術講習

### (1) 非破壊試験 学科試験対策講習

超音波探傷試験	レベル1(UT)	平成21年 8/24(月)～8/25(火)
	レベル2(UT)	平成21年 8/31(月)～9/2(火)
浸透探傷試験	レベル1(PT,PD,PW)	平成21年 8/25(火)
	レベル2(PT,PD)	平成21年 8/27(木)～8/28(金)
磁粉探傷試験	レベル1(MT,MY,MC,ME)	平成21年 8/20(木)～8/21(金)
	レベル2(MT,MY)	平成21年 8/31(月)～9/1(火)
放射線透過試験	レベル1(RT)	平成21年 8/20(木)～8/21(金)
	レベル2(RT)	平成21年 8/24(月)～8/25(火)
材料試験	レベル3共通	平成21年 8/20(木)～8/21(金)

### (2) 溶接管理技術者認証取得教育

	WES1級	WES2級
認定研修会	平成21年 9/15(金)～9/18(金)	平成21年 9/15(金)～9/18(金)
直前対策演習	平成21年 9/15(金)～9/18(金)	平成21年 9/15(金)～9/18(金)

- (3) 鉄骨製作管理技術者資格(1級, 2級)取得講習 平成21年 9/5(土)～9/7(日)
- (4) AWS-CWI資格取得講習 事前セミナー 平成21年 8/24(月)～8/28(金)
- (5) 抵抗溶接実務教育講習 平成21年 10/3(土)～10/4(日)

## ・ 溶接技能訓練講習

ステンレス鋼溶接(被覆、ティグ、ミグ)	8/5(水)～8/6(木), 9/2(水)～9/3(木), 10/7(水)～10/8(木), 11/9(水)～11/15(木), 12/2(水)～12/3(木)
アルミ合金溶接(ティグ、ミグ)	8/19(水)～8/20(木), 9/16(水)～9/17(木), 10/14(水)～10/15(木) 12/9(水)～12/10(木)
半自動アーク溶接(炭酸ガス)	8/4(火)～8/6(木), 10/6(火)～10/8(木) 12/1(火)～12/3(木)
銀ろう付け溶接	11/5(木)

## ・ 検定日

鋼溶接検定日	平成21年 8/7(金), 9/4(金), 10/9(金), 11/6(金), 11/13(金), 12/4(金)
アルミ溶接検定日	平成21年 8/21(金), 9/18(金), 10/16(金), 12/11(金)

発行所 財団法人 日本溶接技術センター 事務部門  
〒210-0001 川崎市川崎区本町2-11-19  
Tel 044-222-4102 Fax 044-233-7976  
URL <http://www.jwsc.or.jp/>

# 日溶セがいで

第17号

### 第17号の主な内容

#### 1、'09 鉄構技術展'に出展

学校長 岡本 晴仁

#### 2、'アートに活かす熱加工技術'講習(初めての試み)

専務理事 奥村 誠



'09 鉄構技術展 風景

## ‘09 鉄構技術展に出展

学校長 岡本 晴仁

12年ぶりに開催された鉄構技術展に日本溶接技術センターとして出展しました。12年前にはすでにパブルは崩壊していましたが、会場の雰囲気は今回よりは前回の方が大きく盛り上がっていたように感じました。

しかし、弊センターのブースは来客も多く**成果があったと思われる**。客層がファブ中心であることから、弊センターの出展は、鉄骨加工で重要な溶接の非破壊検査に関して、次のように**実技中心の展示**としました。

- ・食い違い・ずれの計測・判定システム器による計測実技
- ・外観試験見本による外観検査実技
- ・UT試験片での内質検査実技
- ・放射線透過での欠陥調査
- ・磁粉探傷・浸透探傷による表面欠陥検査
- ・表面粗度測定

弊ブースに来店されたファブ関係者はこれらの検査技術を言葉として常に耳にしているとはいえ、実際に触れることは少ないことから、非常に関心をもって自分で検査を行っていました。

弊センターの展示は、この他、ファブの後継者育成を目的とした日本溶接構造専門学校の紹介、社会人教育の案内としての教育訓練部門の案内および各種金属の材料・溶接部の試験検査を行っている試験・検査部門の紹介、各種質問に答えるコーナーを設け、**弊センターの紹介**を行いました。

特に人気のあったのは、分かりやすいこともあり**外観検査見本**で、手に取って日ごろの自分達の溶接について種々仲間内で議論していました。

ところで、今回は**在校生全員にこの鉄鋼技術展の見学に参加**させました。日ごろ学校で基本的な事柄を勉強・実習していますが、目の前にある大型のロボット溶接機や各種加工機には驚いていたようでした。

自分達の知識でそれなりに各ブースをまわり、いろいろ質問をしたようで**次のような意見**が学生から出ました。

1、それぞれ自分の商品は簡単に操作できるように言うが、適用範囲には制限があること、2、その開発費用を取り戻すのにどのくらいかかるか等的確な答えがなかったこと、3、説明する人は自分の商品のことが知らず、関連する質問にはこたえてくれなかったこと。

それでも実務界の新しい機器等に接し、学生達もそれなりの知識を得たようでした。

12年ぶりに鉄鋼技術展に参加しましたが、以前と比較してやや**活気が少ない**ような気がしました。以前の鉄鋼技術展は新しい鋼材、溶接部の品質等新しい話題が多い時期でありましたが、今回は不景気の影響もあったのだらうと思います。

鉄骨加工に関する新しい技術を吸収する上で鉄鋼技術展は非常によい機会ですが、以前と比較してそれほど新しいものはなく、この分野の将来を考えた場合**寂しさを覚えた**のは私だけではないと思います。今後鉄骨加工業は新しい産業構造に変革していかなければならないと思いますが、これは**若い人達の努力に期待**するものです。



図2 鏡鉄(ぎょうてつ)技法

## ‘アートに活かす熱加工技術’講習(初めての試み)

専務理事 奥村 誠

去る7月26日(日曜日)の午後、当センターに集まってきた面々は、日頃の工業・産業分野の企業戦士と異なり、金属素材を用いて造形活動しているアート分野の関係者達でした。

**多摩美大、女子美大、横浜美術短大**の3校から総勢50数名が参加し、その内、女性陣が30数名と、いつもの教育講習と違った雰囲気を醸す中でスタートし、「鋼板造形に活かす熱加工技術の基礎講習」といったテーマで、実技実習を柱にした半日間の講習を実施しました。

当センターは、ガスやアークの取り扱いに関する安全教育を通じて、以前から首都圏に点在する美術系各学校と交流を深めてきました。今回、更なる接点を求め、学校側へのヒアリングをはじめ当センター関係者による討議を重ねた結果、我々に身近な技術・技能の教育・普及活動に照らし、次のような活動が有効であると考えました。

すなわち、ガスやアークを用いた典型的な溶接技法である**‘ガス溶接’**と**‘TIG溶接’**に加えて、我が国造船業で発展し独特な伝承技法となっている**‘鏡鉄(ぎょうてつ)技法’**(図2参照)を取り上げ、導入教育としての講習プログラムを構成致しました。

‘鏡鉄技法’は、ガス炎と水といった簡便な道具で金属板の変形をコントロールし、例えばプレス加工のような機械加工では得られ難い非可展開曲面を得る熱加工技術であります。生徒さん達にこれら3つの技法の**‘さわ(要点)’**に触れてもらい、彼らの今後の造形活動に活かしてもらおうと考えたわけです。

用いる道具や実習場所など準備面で不備な点が多く、また予想に反して受講生が多く集まったため時間的余裕がなかった事など色々反省点が多かったにも拘わらず、講習後のアンケート調査では、受講生の80%以上から**‘十分満足’**もしくは**‘満足’**との回答が得られ、試みに始めた初回講習会としては、まずまずの成功を収め得たと思います。

今回の講習で印象深く感じたことは、ほとんどの受講生が、講習に臨んで、まずは**‘楽しんでおう’**といった姿勢の強い点で、各課題に真剣にかつ嬉々として取り組んでいることでした。学ぶ上で大切なことは、嫌々やるのではなく如何に対象に対する興味を持続させるかであるの言うまでもありません。

持ち前の手先の器用さだけでなく、彼らの**‘mission;使命、’passion;情熱’に富む姿勢、彼らの学ぼうとする高い意欲が伝わり熱のごもった講習**でした。できなければ悔しく感じ残念に思う心は、前向きに取り組む姿勢の現れとして、自然と彼らを後押しし上達への道へと繋がっていくと感じた次第です。

最近、経済の低迷や社会機構の綻びなど暗雲が立ち込め、‘mission’、‘passion’の低下が問題になる中、我々としても元気をもらう上で実りのある講習であったと思います。

受講生からのアンケートで、様々なご意見を頂きました。総じて前向きにとらえて頂き、もっと時間をかけ、熟練指導者の実演や理論的裏付けも聞きたいといった意見が多く見られました。

我々としても反省すべき点は修正を施し、より良い講習内容に変革させながら継続的に実施したいと考えています。

なお、今回の講習で実技指導を担当した講師は、以下の通りです。‘鏡鉄技法’菅沼、橋村、‘TIG溶接’船木、‘ガス溶接’島田。



図1 ‘09 鉄構技術展 在校生見学



図3 講習 風景